

# たたかう国鉄労働者の大同団結を！

## 9・7国鉄労働者全国交流集会へ

# 日刊 動労千葉

86. 9. 3

No. 2341

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

### 国鉄分割・民営化絶対反対！ 「二七国労」解体！

### 大会の圧倒的成功にふまえ「九・七全国交流集会」へ総結集しよう

動労千葉の第十一回定期大会は、九月一日閉幕し、「国鉄をめぐる情勢は、九月・十月最大の決戦をむかえ、ストライキを軸としたありとあらゆる戦術を駆使して闘う」との運動方針を満場一致をもって採択し、大会は圧倒的成功をかちとり今秋決戦への火ぶたは切っておとされた。本大会の成功をひきつぎ「九・七国鉄労働者全国交流集会」に総結集せよ。

### 各地本に国労つぶしのノルマをかす

動労革マル松崎は、八月二四日、全国地本三役会議を召集し、「国労をつぶし動労を五万組織にする。各地本目標を達成できない時は責任をとってもらおう」と各地本三役を恫喝した。

今、東京駅や高崎の電力・車掌・駅区などに配転し、動労支部を結成し、国労つぶしの拠点づくりを進めている。彼らは「これまで政府・当局をして『まじめな職員の雇用は確保する』と言っていたが、全国大会という最大の場において、運輸大臣や国鉄総裁がこのことを明確にした」などと言いなし、さらに「国労を即刻脱退し動労へ加入し、そのことで『まじめな職員』『改革に前向きに取

り組む職員』ということを表明しよう」（動力車たかさき一二〇四号）とフザけたことをいっている。こんなことを許しているのが国労中央の「大胆な妥協」路線だということは鮮明だ。

### デマとペテンでぬり固めた分割・民営化に矛盾「噴出」

国鉄国会を前に分割・民営化が矛盾として噴出し、中曽根・杉浦は、松崎を使って国労の屈服を迫っている。事態は鮮明である。いまこそ闘いが求められている。国鉄分割・民営化絶対阻止の旗のもと九・七国鉄労働者全国交流集会に総結集し、圧倒的成功をかちとり、今秋九・十月決戦に起とうではないか。

### 集会要綱

- 連帯のあいさつ 自治労、教組、全通、民間
- 講演 「国鉄分割・民営化の矛盾をあばく」  
野田峯雄(ルポライター)
- 問題提起
  - ★「国鉄決戦の正念場の到来に際して国鉄労働者はいかにたたかうべきか」  
中野 洋(動労千葉委員長)
  - ★「いまこそ怒りの総反撃へ——国鉄労働者の課題と任務」  
吉野元久(国労三鷹保線区分会)
- 全国の国労の仲間からの発言と討論
- 特別報告「動労松崎の大裏切りを断罪する」

9月7日(日) 正午～午後5時

四ツ谷公会堂 (地下鉄新宿御苑前より徒歩5分)

主催/9・7集会実行委員会

会場案内図 (連絡先/国鉄千葉動力車労働組合)  
電話0472-22-0727 鉄電056-2935-6

